

令和元年度 第2回大府市総合計画審議会(第2部会)要点記録

日 時 令和元年5月15日(水)

15:30～17:00

場 所 大府市役所 5階 委員会室1

出席委員

副会長	工学院大学	遠藤	新
委員	ボランティア団体(ふるさとガイドおおぶ)	加藤	明美
委員	連合愛知知多地域協議会	近藤	伸一
委員	大府商工会議所	深谷	洋二
委員	公募	三浦	太資
委員	東海大府交通安全協会	三好	直人
(欠席)			
委員	あいち知多農業協同組合	稲葉	きみ子

行政

副市長	山内 健次
健康都市推進局長	吉兼 智人
市民協働部長	丸山 青朗
都市整備部長	玉村 雅幸
建設部長	長谷川 重仁
産業振興部長	寺島 晴彦
水道部長	杉山 鐘辞
消防長	上山 治人
建設管理課長	小田原 幸生
庶務課長	中倉 謙二
都市計画課長	深谷 一紀
土木課長	山縣 豊
ウェルネスバレー推進課長	鈴木 秀規

事務局

企画政策部長	新美 光良
企画政策課長	福島 智宏
企画政策課企画係長	川出 陽一
企画政策課企画係主任	鈴木 康幸
企画政策課企画係主事	青木 大

【議事】

（１）前回の要点確認及び基本計画施策シートの修正点について

・事務局から概説

（会長）

今は修正点を中心に説明いただいた。資料１で説明していない項目は、既に内容が網羅されているので飛ばしたということか。

（事務局）

そのような形になる。現状で書かれている内容で網羅されており、文言としては変更していない。

（委員）

防災・減災について教えてほしい。仮設トイレについて、大府市のルールとして下水道に流す、流さないの取り決めはあるのか。

（事務局）

どんなときに、どこの場所でという具体的なことは今後検討していかなければいけない。

（委員）

他市で防災訓練に参加した時、下水道に流すと処理場が大変になるということで流さないようにしていた。それで大府市がどうなっているかを聞いた。

（事務局）

大府市の下水道は分流式で行っている。溶ける紙なのか、流量のある場所の選定等はしていく必要がある。

（会長）

そういった点も含めて、避難訓練等で情報の共有ができると良い。

（建設管理課長）

災害の種類にもよるが、当初は簡易なもので対応していくことになる。

（委員）

狭中の生活道路に車が多く入ってくるため、生活道路に対するバイパスを通してほしい。生活道路の狭い道に循環バスが入ってくるが、高齢者が免許証を返納してバスに乗ると市内に出るのに２時間くらいかかってしまう。高齢者が市内に出ないようになり引きこもり健康でなくなってしまう。

（事務局）

基本計画の２８ページに「道路整備の推進」を示し、４１ページに「利便性の高い公共交通ネットワークの形成」を示している。ハード面の整備、ソフト面の支援の両面からしっかりと進めていきたい。

（都市計画課長）

公共交通ネットワークの形成の中で「交通結節点への移動の円滑化」を記載している。

（会長）

公共交通のネットワークだけでなく、世界的にはシェアリングやデマンドサービス等の開発も進められている。内容としては含まれているので良いと思う。

（委員）

駅前のターミナルが狭く、ロータリーで喧嘩が起きている現状もある。将来的には広くすることも考えたい。

(事務局)

総合計画の下位計画として分野別の計画を作っていくので、その中で意見を反映したい。

(委員)

ふるさとガイドとして、着地型観光や健康に結びついた観光を勉強しながら実践している。着地型観光に大府の農業を取り入れたい。ぶどう、いちご、野菜等の農産物を観光に生かしたい。農業の後継者を育成することにもなる。また、交流人口が増えることにもなる。

駅周辺のにぎわいづくりに満足している人の割合の目標 30%は低く寂しい。一方、買い物しやすい環境に満足している人は 60%と多い。大府駅にできた KURUTO から地域全体のにぎわいを波及できるようにしたい。東京都町田市では空き家が増えてきて、行政と民間が一緒になって、高齢者一人暮らしの準空き家を駅の周りに集めて、空き家をリフォームして若い人に活用してもらうまちづくりをしている。大府駅前でもマンションを作り人口を増やすことも大事だが、空いた土地を着地型観光も含めて有効に活用できると良い。

(事務局)

目標値については十分に検討したうえで設定しているが、次回までに検討したい。

40 ページの施策 3 ③に、前回の意見も踏まえて、観光の観点から地産地消のことを追記している。

駅前の居住空間については、38 ページに魅力ある居住空間の形成とともににぎわいづくりをしていくことを追記している。

27 ページでは、空き家の利活用について、施策 4 に空き家の発生抑制や適正な管理、利活用の促進等を記載している。

(産業振興部長)

農業観光は観光ぶどう園やげんきの郷等が中心に行っている。6 次産業化等の情報をふるさとガイドと共有しながら観光振興につなげていきたい。

駅前のにぎわいについて、数値を 10%あげることは大変なことであるが、駅前の皆さんと連携して進めていきたい。

空き家対策に関しては、補助金を活用して進めていきたい。

(委員)

農業の問題は後継者不足であり、大府市は県下に誇る農産物を生産しており、観光農業の面でも行政にプッシュしてほしい。げんきの郷だけでなく身近に観光農業ができる場所があると良い。若い人が取り組んでもらえるよう後押しをお願いしたい。

(会長)

他市では農地付きの空き家の改修・活用に対して補助をしている。

体験をする農業を着地型観光として明確に意識した方が良いという意見である。

(産業振興部長)

40 ページの施策 3 ③で、グリーツーリズム事業等もこれまでにやっており、農業体験等の言葉を入れていきたい。

(委員)

6次産業化が話題になっている。売るという部分では商工会議所との連携が必要になる。

大府長根山ぶどう園は、現在は3園のみとなっている。大府の観光として、ぶどう狩りに取り組んでいく必要がある。

(産業振興部長)

6次産業化において、売る側の商工会議所との連携について記載を検討したい。

長根山の観光ぶどう園についても課題として捉えて検討したい。

(委員)

多言語の案内看板も必要だが、それ以前に日本語の観光に関する看板も少ないため、もう少し作ってほしい。自分たちで作ってはいけないのか。

(産業振興部長)

多言語サインや案内看板については、観光だけでなく市全体の課題として考えたい。

(委員)

多言語の看板をいろいろな言語で作るのは大変なので、スマートフォンをうまく活用できないか。大府市としてどういう環境を整えたらよいかを考えるべき。

(事務局)

38ページの施策3③に効果的な観光PRをしていくことを記載している。具体的な手法については、SNSの活用等も含めて随時検討していきたい。

(2) 基本構想(案)について

(会長)

ご意見がありましたらお願いしたい。

(委員)

良い改訂をしていただいている。

1、2ページ目の健康都市の実現の中の文言として、「元気」や「活力」という言葉入っていると良い。くらしの健康では「活力を高めるくらし」等考えてほしい。まちの健康にも「元気」や「活力」が入っていない。活力を促すまちとして表現を考えていただきたい。みらいの健康では「夢」が必要。文章にするのは難しいが、先に向かって広がっていくような文言が入ると良い。

(事務局)

先回ご意見をいただいたWHOの健康領域である「社会の健康」等も参考にしている。ご意見について、「活力」や「夢」等、ニュアンスが伝わるように検討したい。

(会長)

くらしの健康が加わって、ここに環境が入っているが、ここでの環境は都市のセッティングとしての環境ではなく、ライフスタイルとしての環境の視点が強いと感じる。

(事務局)

くらしの健康は、目に見えにくい分野として協働等の内容を追加し、ひとの健康とまちの健康をつなぐ視点として追加している。

省エネ等の環境の内容も含んでいるが、それに加えてライフスタイル等、

市民との協働の面を主としている。

(会長)

くらしの健康は、「活力」や「元気」等の文言を入れることによって、よりわかりやすくなる。検討してほしい。

みらいの健康は上にあり、ひとの健康、くらしの健康、まちの健康を受けたものとして捉えてよいのか。説明文章がテクノロジーから入っているが、若干の違和感がある。文章は相互的に見直す部分があればお願いしたい。

(委員)

文章はひっくり返しても良いのでは。

(委員)

将来都市像の案について、案1は「未来へ」という言葉は良いが、「つながつむぐ」の文章は違和感がある。「未来へ」なら「つなが」となる。案2の「サステイナブル」は世の中にあまり浸透していないのではないかな。できればストレートに使わない方が良い。

たとえば「未来につなげ 皆が輝く 健康都市」等の案を考えた。

(委員)

案1の「つむぐ」という言葉は好きだが、「つながつむぐ」となるとピンとこない。案2の「サステイナブル」はあまり好きではない。案3は少しくどい。案4は健康都市ではないが、まだ実ではなく、花が咲くというの
は良い。

(委員)

案2の「サステイナブル」は市民に分かりにくい。案3は難しい。健康都市は浸透しているので、健康都市をどういうふう
に未来につなげて実現していくかが語れる文章があると良い。

(委員)

案2は廃案になると思う。案3は演歌っぽい。案4はS M A Pの歌を思い出す。都市をまちと呼ばせるなら、ダイレクトにまちと書いた方が良い。

(委員)

1次から5次まで入っているので「健康都市」は外せない。「未来」は良い文言であるので入れた方が良い。「健康都市」と「未来」をうまく入れた文言が良い。

(会長)

1次、2次、3次、5次は「健康都市」を説明している。1つの視点として、どのような「健康都市」かを説明するような文言を付けた案があっても良い。2つ目の視点は、「健康都市」で共有・確立してきた価値を受け継ぐものとして、「未来」「つなが」といったニュアンスを持つ視点もある。3つ目の視点は、ひと、まち、くらし、みらいを入れ込んだ案もある。これら3つの視点でネーミングができると良い。今日の意見を踏まえながら何度も検討して絞り出していければよい。

(事務局)

このあと6月25日からパブリックコメントにかけていくが、将来都市像を入れ込んだものとしてパブコメをしていきたい。6月17日までに1案ないしは2案を提示していきたい。最終的には9月に議決があるので、議会で議決をいただき決定していく。

【その他】

(事務局)

- ・ 今後の予定について報告

閉会

以上